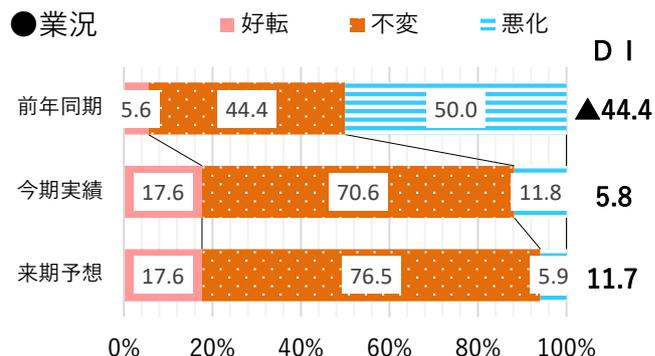


運輸・倉庫業

業況、売上、採算

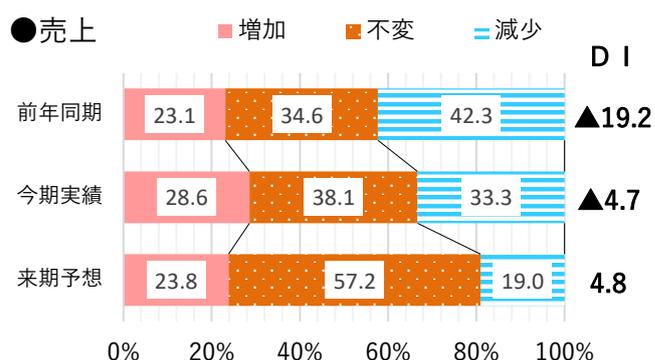
今期（2022.10～12）の業況判断DIは5.8で、前年同期（2021.10～12）と比べ50.2ポイントと大幅に上昇し、プラスに転じました。

来期（2023.1～3）は、業況の好転傾向が続くと予想しています。



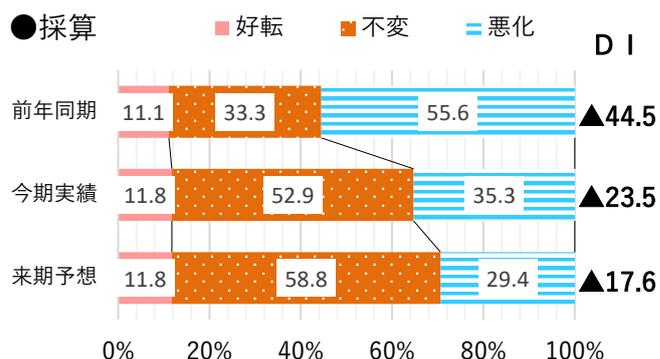
今期の売上高DIは▲4.7で、前年同期と比べ14.5ポイント上昇しました。

来期は、売上がプラスに転じると予想しています。

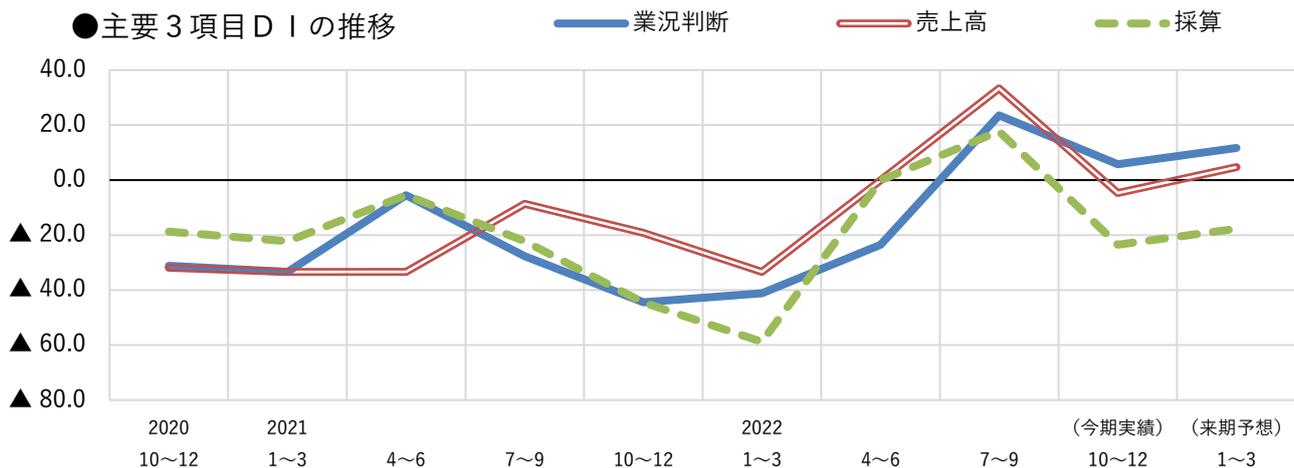


今期の採算DIは▲23.5で、前年同期と比べ21.0ポイント上昇し、プラスに転じました。

来期は、採算の悪化傾向が弱まると予想しています。



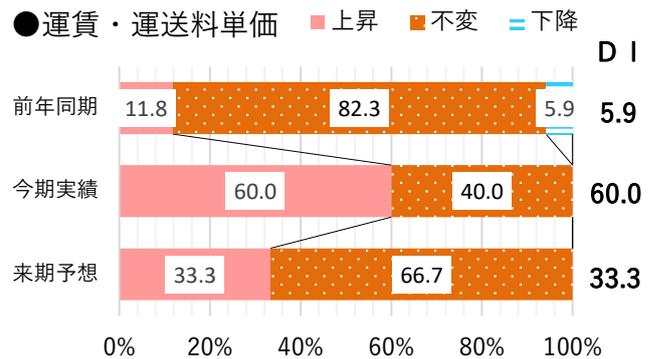
●主要3項目DIの推移



運賃・運送料単価、保管料単価

今期の運賃・運送料単価DIは60.0で、前年同期と比べ54.1ポイントと大幅に上昇しました。

来期は、運賃・運送料単価の上昇傾向が続くと予想しています。



今期の保管料単価DIは12.5で、前年同期と比べ12.5ポイント上昇しました。

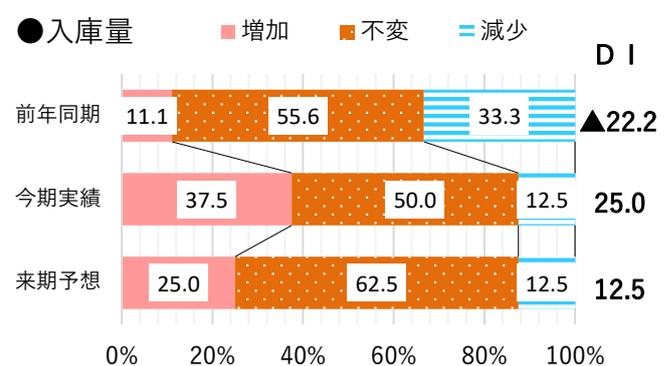
来期は、保管料単価の横ばいを予想しています。



入庫量、出庫量、保管残高

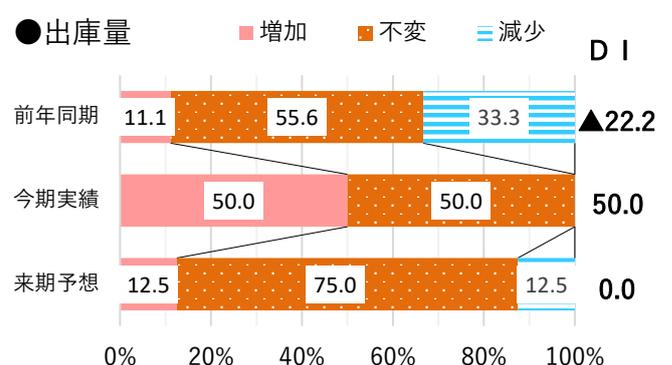
今期の入庫量DIは25.0で、前年同期と比べ47.2ポイントと大幅に上昇し、プラスに転じました。

来期は、入庫量の増加傾向が弱まると予想しています。



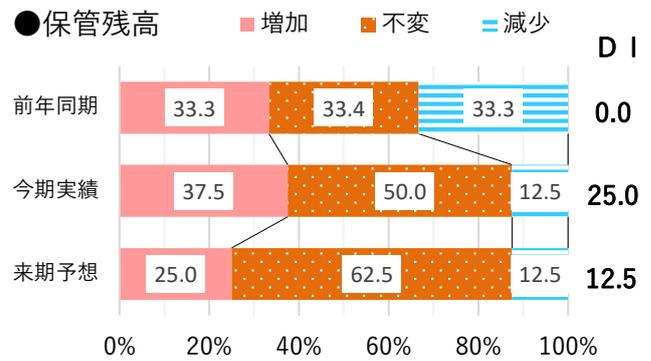
今期の出庫量DIは50.0で、前年同期と比べ72.2ポイントと大幅に上昇し、プラスに転じました。

来期は、出庫量の増加傾向が大幅に弱まると予想しています。



今期の保管残高DIは25.0で、前年同期と比べ25.0ポイント上昇しました。

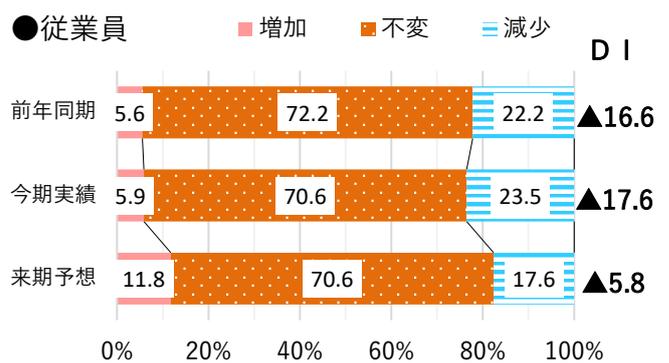
来期は、保管残高の増加傾向が弱まると予想しています。



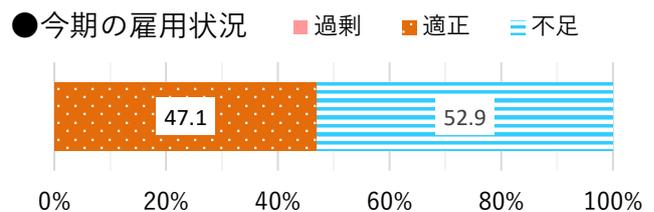
従業員、今期の雇用状況

今期の従業員DIは▲17.6で、前年同期と比べ1.0ポイント低下しました。

来期は、従業員の減少傾向が弱まると予想しています。



今期の雇用状況について、自社の従業員数が過剰であると回答した企業はなく、適正であると回答した企業の割合は47.1%、不足していると回答した企業の割合は52.9%でした。



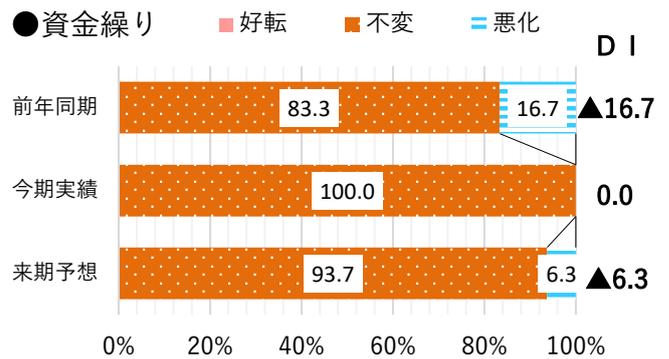
従業員数と雇用状況の相関関係について、最も多かったのは「従業員数は前年同期比で変わらず、充足している」という回答で、47.0%を占めました。回答全体では半数以上が従業員不足と回答しています。

今期従業員数	今期の雇用状況	回答数
増加した	過剰	0
	適正	0
	不足	1
不変だった	過剰	0
	適正	8
	不足	4
減少した	過剰	0
	適正	0
	不足	4

資金繰り、設備投資

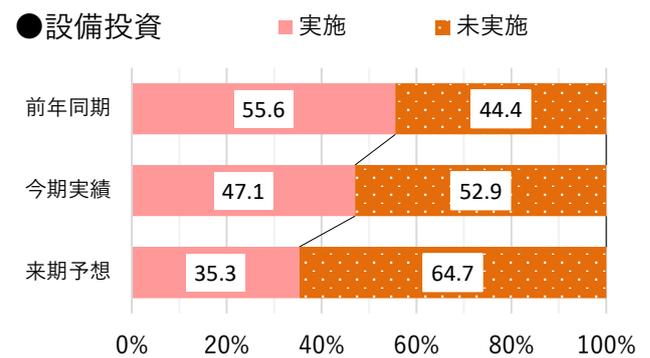
今期の資金繰りDIは0.0で、前年同期と比べ16.7ポイント上昇しました。

来期は、資金繰りがマイナスに転じると予想しています。



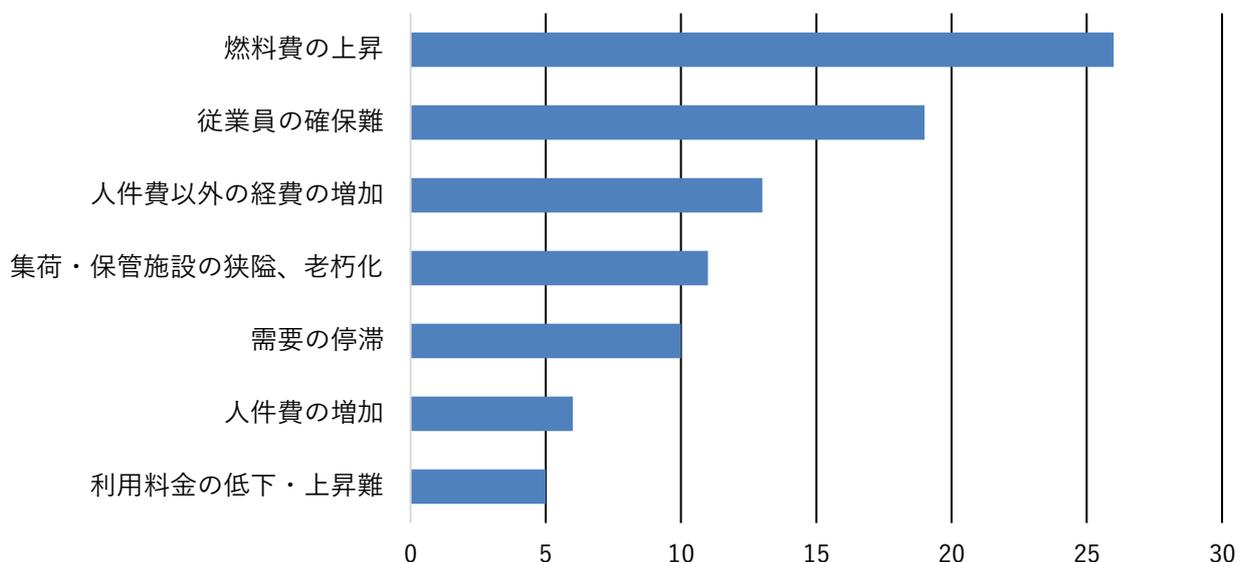
設備投資を実施した企業の割合は35.3%で、前年同期と比べ8.5ポイント低下しました。投資内容は、1位が「輸送機材」、2位が「集荷・保管施設」（同位）の順です。

来期に設備投資を計画している企業の割合は35.3%で、減少を予想しています。



経営上の問題点

今期直面した経営上の問題点は、1位が「燃料費の上昇」、2位が「従業員の確保難」、3位が「人件費以外の経費の増加」の順です。



企業の声

[今期の業況について]

- 運輸部門は売上が減少し、燃料費高騰分を価格に転嫁できず利益が減少した。倉庫部門は米穀の消費減と豊作による余りを反映し、入出庫保管全て前期比で増加した。人材は管理部門の事務職、現場の担当者ともに確保できていない。(道路貨物運送)
- 売上が増加した。(道路貨物運送)
- 人材不足により稼働率が低下した。燃料費が高騰したため、運賃を引き上げた。(道路旅客運送)
- 売上は微増した。新型コロナウイルスの感染拡大により、客足は鈍い。(道路旅客運送)
- 仕入価格や人件費、諸費用の増加により採算が悪化傾向にある。(道路旅客運送)
- 貨物部門の業況は燃料油価格変動調整金の動向に左右される。(倉庫)
 - ※燃料油価格変動調整金：運輸事業者が燃料費の価格変動に応じてサービス価格に上乗せする料金
- 在庫量の減少に加え、出庫量が増加している。(倉庫)
- 新型コロナウイルス流行に伴う行動制限がなく、全国旅行支援が開始されたことで、旅客部門の売上は新型コロナウイルス流行前の8割程度の水準まで戻った。貨物部門は経済活動がまだ本格的でなく、物価が値上がりしているため動きが鈍く、悪影響が出ている。(水運)

[来期の業況について]

- 今期ほどではないが、売上の増加を見込む。(道路貨物運送)
- 今期同様、売上は微増を見込むが客足は鈍いだろう。(道路旅客運送)
- 地域経済の縮小による業況悪化を予想する。(道路旅客運送)
- 引き続き売上の増加を見込む。(道路旅客運送)
- 人材確保に取り組みたい。(道路旅客運送)
- 在庫量の減少が予想される。(倉庫)
- 旅客部門は全国旅行支援の継続により、昨年同期比で売上の増加を見込む。貨物部門は物価上昇の影響により、荷動きが不透明だ。(水運)